JA共済の 地域貢献活動の 取組み

JA共済の 地域貢献活動

地域社会との共生をめざして、 さまざまな活動に取り組んでいます。

> JA共済地域貢献活動のホームページ http://social.ja-kyosai.or.jp

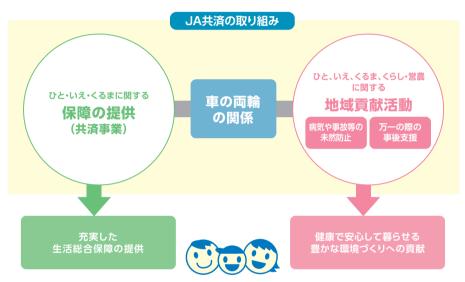
地域貢献活動への取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
健康管理・増進活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
災害救援/復興支援(寄附講座)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
交通事故対策活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
文化支援/環境保全活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9

地域貢献活動への取り組み

~地域に暮らす皆さまが、健康で安心して暮らせるために~

JA共済が実施する保障の提供と地域貢献活動(病気や事故等の未然防止と万一の際の事後支援)は車の両輪の 関係にあり、相互に機能することにより「安全・安心」の輪を広げてきました。

これからも保障の提供と地域貢献活動を通じて地域との絆を強化し、組合員・地域住民の皆さまが住み慣れた 地域で健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献していきます。



組合員・地域住民の皆さま

■病気や事故等の未然防止

病気や交通事故などさまざまな「リスク」を同避・軽減するため、健康管理・増進活動や交通事故対策活 動などを実施しています。

● レインボー体操・笑いと健康教室の開催、健康・介護ほっとラインの実施、世代別交通安全教室(親と子の 交通安全ミュージカル、生徒向け自転車交通安全教室、シルバー世代向け交通安全教室、ドライビング シミュレーターなど) の開催など

■万一の際の事後支援

災害救援活動や交通事故被害者の社会復帰支援活動などを実施しています。

● 災害シートの配布、仮設住宅の貸与、介助犬の育成・普及支援、リハビリテーションヤンターの開設、各種 団体への支援など

> 平成28年度より、これまでの地域貢献活動の「ひと・いえ・くるま」の分野に 「くらし・営農」の分野を加えて再編し、各地域の特性に応じた 生活支援・農業振興・協同活動の取り組みを強化していきます。

健康管理•増進活動



ずっと健康であるために

■レインボー体操

JA共済が独自に開発した健康体操です。

心臓に負担をかけないやさしい動きで、立っても、座っても、寝てもできますので、体力に自信のない方、お年 を召した方にも安全に行っていただけます。色々な音楽に合わせて楽しく体を動かしながら、病気予防・健康づく りができます。

平成27年度の活動状況

●参加人数 … 21.994 名











見ながら体操ができるレインボー体操のDVD

レインボー休操のDVDより

レインボー体操は、健康増進に役立っています

- ●誰にでもできる簡単な動きで、「肩こり・腰痛の解消」「生活習慣病予防」「老化防止」「リフレッシュ」に効果が期待 できます。
- ●組合員等の皆さまを対象に、レインボー体操の講習・研修会等を行っています。

■笑いと健康教室

「笑い」が心や体によいということは医学的にも証明されつつあり、最近では病気の予防や治療においても注目 されています。

JA共済では、健康増進活動のひとつとして「笑いと健康」の関係に着目したプログラムを開発し、「笑い」の効果 とその仕組みについて学び、実際に体験する「笑いと健康教室」を開催しています。

平成27年度の活動状況

●参加人数 … 8.568 名 ●開催数… 145 回









(単位:夕)

プログラムの主な内容

笑いと健康DVD(前・後編) レインボー体操、

Oh!笑い体操 ゲーム、笑いヨガ

笑いと健康教室の風景

■その他健康管理・増進活動状況

活動種類		平成27年度
健康管理活動	健康診断	173,512
	人間ドック	39,252
高齢者福祉活動	高齢者集団保養健診	13,309

■健康・介護ほっとライン

生活習慣病予防や肥満などの健康相談、医療機関の情報提供、育児・介護などのご相談を専門スタッフが フリーダイヤルでお受けしています。

平成27年度 ●電話件数 ··· 7.069 件

健康•介護雷話相談

シアワヤイチパン コンサルタント

0120-481-536



無料 受付時間 24時間・365日

■看護師・介護支援専門員(ケアマネジャー)・医師 (精神科・心療内科を除く)・栄養士による親身な応対

- ●携帯電話やPHSからもご利用になれます。
- ●お名前は伺いませんので安心してご利用ください。

(ほっとちゃん) こんな相談をお受けします

○生活習慣病予防や肥満など、生活全般の健康相談 ◎気になる症状の相談、医療機関などの情報提供 ◎スポーツ、体力づくりなどの相談・情報の提供 ◎妊娠や育児についての相談・情報の提供 ◎介護に関する相談、介護サービス情報の提供

◎交通事故などのリハビリ相談・施設情報の提供

※ご相談の内容・性質などにより回答できない場合があります。

JA共済連の子会社において営まれている宿泊保養施設 一覧

「契約者サービス」および「組合員に対する健康管理・増進活動への支援機能」として、全国11か所の宿泊保養 施設を運営しています。

● 福島県・奥飯坂「摺上亭大鳥」

〒960-0201 福島県福島市飯坂町字中ノ内24-3 TEL.024-542-4184 客室数:59室

②新潟県・鵜の浜温泉「鵜の浜ニューホテル」

〒949-3101 新潟県上越市大潟区雁子浜304 TEL.025-534-2622 客室数:36室

3 富山県・雨晴温泉「磯はなび」

〒933-0133 富山県高岡市太田88-1 TEL.0766-44-6161 客室数:50室

4 石川県・柴山温泉「ホテル翠湖」

〒922-0402 石川県加賀市柴山町し50 TEL.0761-74-5588 客室数:21室

⑤ 愛知県・三河湾三ヶ根山「グリーンホテル三ヶ根」

〒444-0701 愛知県西尾市東幡豆町入会山1-287 TEL.0563-62-4111 客室数:61室

6兵庫県・城崎温泉「あさぎり荘」

〒669-6101 兵庫県豊岡市城崎町湯島876 TEL.0796-32-2921 客室数:35室



⑦鳥取県・鳥取温泉「ホテルモナーク鳥取」 〒680-0834 鳥取県鳥取市永楽温泉町403

TEL.0857-20-0101 客室数:116室 ③鳥取県・はわい温泉「羽衣」

〒682-0715 鳥取県東伯郡湯梨浜町はわい温泉21-1 TEL.0858-35-3621 客室数:25室

〒699-0201 島根県松江市玉湯町玉造53-2 TEL.0852-62-0021 客室数:121室

●佐賀県・武雄温泉「ホテル春慶屋」

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄7407 TEL.0954-22-2101 客室数:24室

〒889-2164 宮崎県宮崎市折生迫7408 TEL.0985-55-4390 客室数:40室

災害救援/復興支援(寄附講座)



災害にあわれた方のために

JA共済のご契約者さまとそのご家族の生活を支援するため、「災害シート」の無償配布や、「仮設住宅」の無 償貸与をしています。

※JA共済のご契約者さまで一定の要件を満たす場合に限ります。

■災害シート

自然災害などでお住まいが壊れてしまった方に、災害シートを無償で配布しています。東日本大震災などでも 災害シートをお配りし、ご契約者さまとそのご家族の、災害からの復興に向けたサポートをしました。

平成27年度 ●配布枚数 ··· 2.669 枚

■仮設住宅

火災などでご自宅に居住できなくなった方に、仮設住宅を8か月間無料でお貸ししています。住宅だけでなく キッチン・トイレ・お風呂など、暮らしに必要な設備をあらかじめ備えています。

平成27年度 ●貸与棟数 ···46 棟



災害シート 大きさ:3.6m×5.4m(12畳)



仮設住宅

復興支援(寄附講座)

JA共済は、早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンターと共同で、同大学の学生を対象に、東北地方の震 災復興へのアプローチと農村の社会経済をテーマとする寄附講座を平成24年4月から開講しています。この講 座は、震災の影響を受けた農村地域の諸問題について考えるとともに、実際に被災地に赴いて震災復興に向け た活動を行うことで、農村地域について体系的・実践的に学び、「絆」や「助け合い」の重要性に触れる機会を提供 しています。



講義の風景



被災地でのフィールドワークの風景

交通事故対策活動



交通事故を防ぐために

春と秋に実施される全国交通安全運動への参加をはじめとした、さまざまな交通安全運動を実施しています。 自治体・警察などと連携した、世代別交通安全教室の開催や、交通安全資材・DVDの作成や寄贈などを通じて、地 域の交通安全運動に積極的に取り組んでいます。

幼児向け

■JA共済アンパンマン交通安全キャラバン

「アンパンマン交通安全キャラバンカー」が全国を巡回し、楽しいショーを通じて幼児に交通ルールを伝えます。 小さなお子さまに絶大な人気を誇るJA共済のイメージキャラクター「それいけ!アンパンマン」。荷台部分が ステージになるキャラバンカーで全国を巡回して行うステージショーは幼児や保護者に好評です。ショーを通 じて交通安全を呼びかけ、親子で交通安全について考える時間を提供しています。 (監修:一般財団法人 日本交通安全教育普及協会)

平成27年度の活動状況

参加人数···155.848 名■ 開催数···361 回



ステージショーの風景



荷台部分がステージになるキャラバンカー

■親と子の交通安全ミュージカル「魔法園児マモルワタル」

就学前の幼稚園・保育園児と保護者を対象とした、ミュージカル形式の交通安全教室を全国各地で開催して います。

このミュージカルは、舞台の上の横断歩道で園児が実際に体験できるなど、客席の園児、保護者の皆さんと 舞台がひとつになって、楽しみながら交通ルールを学べる構成となっています。 (後援:内閣府、警察庁、国土交通省 推薦:一般財団法人 全日本交通安全協会)

平成27年度の活動状況

● 参加人数…12,429 名 ● 開催数…29 回



ステージショーの風景



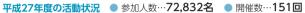
ミュージカルのキャラクター

生徒向け

■白転車交通安全教室(中・高牛対象)

~警察等と連携した交通事故対策活動~

中学校や高等学校で行われる交通安全教室の際、危険な自転車走行に伴う交通事故の実演(スタントマン) により、生徒に危険性を疑似体験させる教育事業(スケアード・ストレイト教育技法)の推進を支援しています。





スタントマンによる衝突事故の実演



スタントマンによる巻き込み事故の実演

シルバー世代向け

■交诵安全教室

事故のおよそ半数を占める高齢者の交通事故を防ぐために、「シルバー世代向け交通安全教室」を開催して います。JA共済オリジナルの「交通安全落語」で笑いながら交通安全の意識を高め、「レインボー体操」で身体 機能の低下を予防。誰でも楽しく参加できる内容になっています。

平成27年度の活動状況

● 参加人数…18,908 名 ● 開催数…158 回



交通安全落語の風景







(平成28年4月現在)

■安全運転診断

高齢ドライバーの交通事故を防ぐために、ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」を全国7か所に配 置し、巡回型の安全運転診断を行っています。過去の事例を参考に、事故を起こしやすい場面を再現したドライ ビングシミュレーターを使い、約5分間の講習で安全運転のアドバイスが受けられる内容となっています。

平成27年度の活動状況 ● 参加人数···**4,226名** ● 開催数···**181回**



ドライビングシミュレーターを使った安全運転診断の風景



ドライビングシミュレーター搭載車両「きずな号」

交通事故対策活動 交通事故対策活動

その他

■交通安全ムービーの無償提供

交通安全などを楽しみながら学んでいただくため、JA共済地域貢献活動のホームページ (http://social.ja-kyosai.or.jp)にて動画を提供しています。

● 小学生(保護者)向け

歩行中や自転車乗用中の交通安全 について、小学生の発達段階に合 わせて楽しく学ぶことができます。 また保護者向けの映像ではご家庭 で指導するポイントを解説します。



● 中高牛向け

白転車のルールやマナーそして 事故の怖さを再現ドラマやスタン トマンによる実演などで実践的に 解説します。



● 高齢者向け

ドラマ仕立ての2作品。高齢者が あいやすい交通事故や振込め詐欺 被害を防止するため、ドラマ仕立 てで親しみやすく解説します。



交通事故被害者の社会復帰のために

■「介助犬」育成と普及への取り組み

JA共済では、交通事故などにより手足に障がいのある方の日常生活を介助する「介助犬」の育成・普及支援に 取り組んでいます。

障がいのある方の自立と社会参加への支援に力を入れ、介助犬育成を手がける社会福祉法人日本介助犬協会 の事業支援や、日本唯一の学術団体であるNPO法人日本補助犬情報センターへの研究支援を実施しています。 また、介助犬の受け入れに対する理解を促進するために介助犬によるデモンストレーション「はたらくワンワンラ ンド」を開催しています。

平成27年度の活動状況(はたらくワンワンランド) ● 参加人数…10,940名 ● 開催数…49回

写真提供: NPO法人目本補助犬情報センター・社会福祉法人日本介助犬協会



新聞を渡す介助犬

ドアを開閉する介助犬



はたらくワンワンランドの風景

■社会復帰支援のためのリハビリテーションセンター

静岡県の中伊豆と大分県の別府に交通事故等による身体障がい者の社会復帰支援を目的としたリハビリテー ションセンターを開設しています。

これら2つのリハビリテーションセンターは、「病院」「福祉施設」「介護施設」の3つの機能を持った全国でも数少 ない総合型の施設です。

1973年の設立以来、「身体障がい者のしあわせ」と「福祉社会の建設に寄与すること」を理念として交通事故被 害者などの社会復帰をお手伝いしています。

●社会福祉法人 農協共済 中伊豆リハビリテーションセンター



- ●敷地面積 / 162,613㎡
- ●建物床面積/25,332㎡
- ●利用定員/障害者支援施設134 名、病院(回復期リハ病棟)110床、 障害者短期入所事業7名、障害福 祉サービス事業所20名(通所)、通 所リハビリテーション事業100名 ■職員数/371名
- 累計利用者数:19,522名 (昭和48年度~平成27年度)

●社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター



- ●敷地面積/151.984㎡ ●建物床面積/40,644㎡
- ●利用定員/障害者支援施設80名、 病院(回復期リハ病棟)116床、障 害福祉サービス事業所40名(通 所)、通所リハビリテーション事業 130名
- ●職員数/293名

累計利用者数:13,676名 (昭和48年度~平成27年度)

交通安全に関連するその他の取り組み

JA関連医療機関の救急医療およびリハビリ医療の充実を図ることにより、交通事故被害者の救命や交通事故 障がい者の社会復帰の支援を行っています。

このほか全国一斉交通安全運動やシートベルト・チャイルドシート着用推進運動など交通事故防止対策活動 への協替を実施しています。

また、交通事故被害者の被害軽減・救命率向上等に寄与するドクターヘリの普及促進支援も実施しています。 東日本大震災では、全国から集結したドクターヘリが、孤立した病院の患者の救出など、被災者救援に貢献しま Lite.





全国一斉交通安全運動ポスター

ドクターヘリ

JA共済の交通安全の取り組みの一部は、白賠責共済の運用益を活用して実施しています。

文化支援/環境保全活動



JA共済では、心の豊かさ、地域社会との絆づくりを大切にするとともに、JA共済の理念である相互扶助(助け合い)の精神をお伝えするため、文化支援活動を展開しています。

次世代の子どもたちの文化・交通安全への関心を育むために

■書道・交通安全ポスターコンクール

毎年、小・中学生を対象に開催している書道・交通 安全ポスターコンクールは、全国でも最大級の規模 であり、平成27年度の第59回書道コンクールには、 139万点を超える応募が、第44回交通安全ポスター コンクールには、16万点を超える応募がありました。 JA共済では、小・中学生の皆さんに助け合いと 思いやりの気持ちを伝え、交通安全への関心を高 めてもらうために実施しています。



コンクールで大賞を受賞した皆さん



内閣府特命担当大臣賞 遠藤夢知さん(小学5年)



警察庁長官賞 和田都さん(中学2年)



文部科学大臣賞 鎌田泰輔さん(小学2年)



農林水産大臣賞 竹内優希さん(小学4年)



地球環境を守るために

■リボンキャンペーン

JA共済では資源の有効活用と地球環境保護を目的として、自動車の修理や車検の際、自動車の損傷箇所を新品に交換するのではなく、補修やリサイクル部品をご利用いただくよう啓発活動を行っています。



リボンキャンペーン 告知ポスター